

第49号

# 砂防トピックス 青森

青森県河川砂防課 編集・発行（令和7年2月）

## 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の公表（令和6年11月）

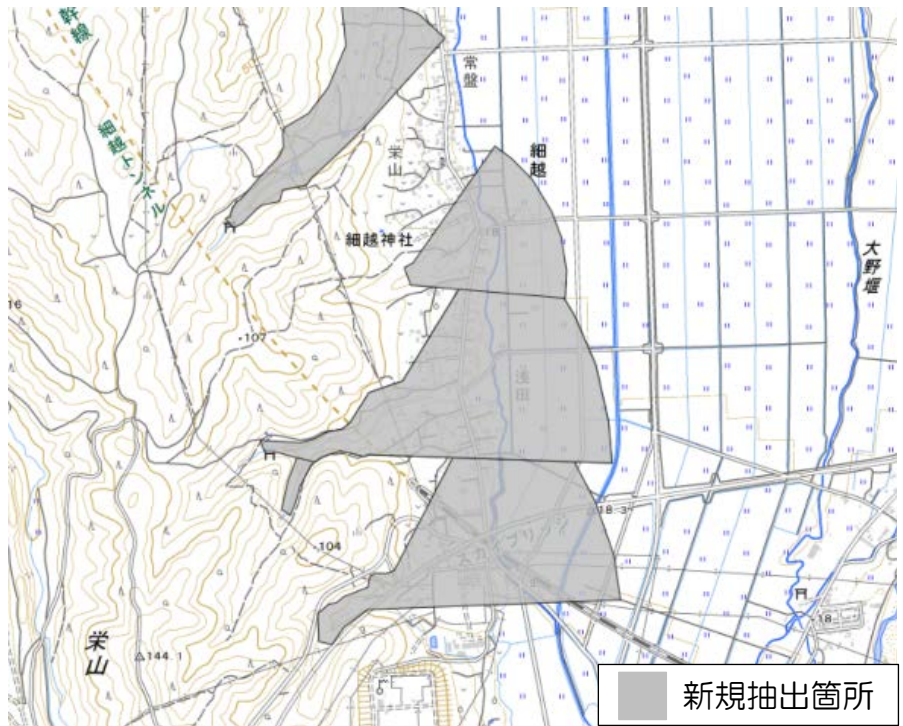
近年大雨により令和元年10月に発生した千葉県千葉市緑区誉田町を始め、土砂災害警戒区域外での土砂災害が発生している傾向にあります。それに伴い、国では「土砂災害防止対策基本指針」を変更し、青森県では令和2年度から、高精度な地形情報を用いた新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の抽出作業を進めてきました。

作業の流れとしては、LP測量・航空写真測量として5mメッシュDEMを用いて、勾配30度以上の斜面の

抽出及び人家等の有無による絞込みを実施した後、机上抽出した箇所について簡易な現地調査を行い、地形や保全対象の有無について確認の上、箇所数の絞込みを実施しました。

抽出作業は、令和6年11月に完了し、青森県内での土砂災害が発生するおそれのある箇所は「2,948箇所」となりました。また、住民への抽出結果の早期周知を図るため、報道関係機関及び「青森県土砂災害警戒区域等マップ」（<https://www.sabomap.jp/aomori/>）にて公表を行いました。

現在は、基礎調査に向けた砂防基盤図を作成中であり、今後は、要配慮者利用施設又は公共的建物を含んでいる箇所を優先して基礎調査を実施します。また、各市町村を対象に新規抽出箇所及び見直しの基礎調査を実施し、土砂災害警戒区域指定の手続きを進めていきます。



青森県土砂災害警戒区域等マップでの公表

## 川の防災安全教室の開催

青森県では、県民自らが洪水・土砂災害から身を守るため、川の防災と土砂災害の防止に関する知識の習得及び防災意識の向上を図る目的で、平成26年度から県内の小学生を対象に「川の防災安全教室」を開催しています。

今年度は、7月17日（水）に五所川原市立三好小学校、9月26日（木）に三戸町立三戸小学校で開催しました。児童の皆さんには、川の氾濫や土砂災害の恐ろしさ、大雨や土砂災害についての基礎知識とその対策について勉強していただきました。

児童の皆さんからは、「土砂崩れやがけ崩れは全部同じものだと思っていたけど、違うものだと分かった」「砂防模型実験を通して対策工を学ぶことができた」などたくさんの感想をいただきました。洪水、土砂災害について考えていただく良い機会にできたと感じています。



パワーポイントを用いた説明



砂防模型実験

## 雪崩防災教室の開催

青森県では、平成8年度より12月1日から7日までの「雪崩防災週間」に、雪崩対策に対する基礎知識の習得と防災意識の向上を図る目的で、県内の小学生を対象に雪崩防災教室を開催しています。

今年度は、12月5日（木）に深浦町立修道小学校で開催しました。児童の皆さんには、雪崩災害の恐ろしさ、雪崩の基礎知識とその対策や小学校周辺の雪崩危険箇所について勉強していただきました。

さらに、砂防模型を用いて土砂災害の基礎知識を勉強していただきました。

児童の皆さんからは、「雪庇という言葉は初めて聞いた」「雪崩の危険があるときの避難経路も考えておきたい」などたくさんの感想をいただきました。雪崩、土砂災害について考えていただく良い機会にできたと感じています。



パワーポイントを用いた説明



砂防模型実験

## 砂防ボランティアによる活動

青森県砂防ボランティア協会（代表伊藤文二）は、下記の活動を行いました。

### 【ヤマメ放流支援と魚道清掃】

中泊町「滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド」で子供達と共に夢を創る会が主催するヤマメ放流会が6月10日(月)に開催されました。

当日は、中里小学校3年生によるヤマメの稚魚放流のほか、河川砂防課職員から土砂災害についての防災教育を行いました。



### 【滝ノ沢イワナ産卵床維持管理活動】

外ヶ浜町の滝ノ沢砂防ダム下流にてイワナ産卵床の維持管理活動を10月4日(金)に行いました。

イワナ産卵床が洪水時の土砂流入により一部が埋塞するため、対策として平成22年度より活動を行っています。



## 土砂災害危機管理研修会の開催

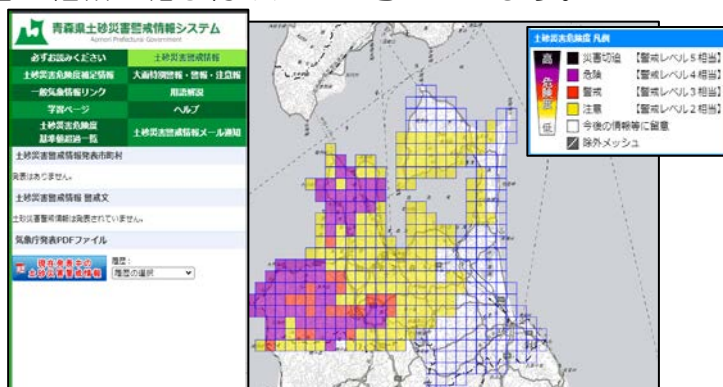
本格的な降雨シーズンを迎える時期、8月7日(水)、8日(木)に「土砂災害危機管理研修会」を開催し、市町村防災部局担当者など計28名が参加しました。この研修会は、土砂災害に対して、市町村が万全な警戒避難体制をスムーズに指導し、迅速かつ確実に避難指示等を発令できるよう支援することを目的に開催しています。

研修会では、土砂災害に関する基本的説明のほか、各種防災気象情報の収集・活用方法や警戒避難の考え方、平常時からの検討事項などについて説明した後、各自がパソコンを操作し、青森県土砂災害警戒情報システム等を利用したシミュレーション演習を実施しました。

研修後のアンケートでは、土砂災害の映像を視覚的に確認できたことにより、改めて土砂災害の怖さを実感できた等の感想をいただきました。今後も研修会を通して、積極的に市町村の支援を行いながら、土砂災害による人的被害の軽減に結び付けたいと考えています。



講習会の様子



青森県土砂災害警戒情報システム

## 青森県流域治水シンポジウム（令和6年度土砂災害防止講演会）の開催

国土交通省と都道府県では、昭和58年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として定め、梅雨や台風シーズンにおいて、県民一人ひとりが土砂災害の防止や被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、様々な取組を行っています。また、青森県では、県民一人ひとりが水災害を自分事と捉え行動する「総力戦の流域治水」に取り組んでいます。

この取組の一環として、今年度は、6月28日（金）に本講演を開催し、水災害や土砂災害の対策として「流域治水」をキーワードに、青森県宮下知事の講演に加え、宮城県大崎市伊藤市長、国土交通省水管理・国土保全局砂防部砂防計画課國友課長にご講演いただきました。

今後も土砂・洪水氾濫対策や流木対策の更なる展開による「流域治水」の実践のほか、老朽化した砂防施設の機能を適正に維持するための持続可能なインフラメンテナンス等により一層取り組んでいきます。

また、情報提供の充実、防災教育の推進など洪水、土砂災害防止に向けた防災啓発にも取り組み、りんご娘による流域治水のPR活動の展開、県内各地でのイベント等による流域治水キャンペーンを実施していきます。



会場の様子

（新町キューブ グランパレ）



伊藤市長による講演

（演題：大崎市が取り組む水害に強いまちづくり）



國友課長による講演

（流域治水「砂防」及び令和6年度能登半島地震の被害状況）



宮下知事による講演

（演題：青森県の流域治水）

編集・発行 青森県河川砂防課

〒030-8570 青森市長島 1-1-1 青森県河川砂防課内 TEL017-734-9670/FAX017-734-8191

河川砂防課ホームページ：http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kendo/kasensabo/

E-mail：kasensabo@pref.aomori.lg.jp